



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2011年4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

東日本大震災発生 ジュニアコンクール延期 太鼓関係者も多数被害

このたびの東日本大震災で被害を受けられた皆様に謹んでお見舞いとお悔やみを申し上げます。

全国の多くの皆様から被災地の太鼓仲間を心配するご連絡を頂きました。当財団では、ホームページでもできるだけお知らせするようにしておりますが、会報にて改めてご案内いたします。

犠牲者情報(4/13現在)

岩手県・気仙町けんか七夕太鼓保存会(陸前高田市)

石川政英氏、菅野誠志氏、菅野貴浩氏

宮城県・関上太鼓保存会(名取市)

伊東利春氏(会長)、相沢 司氏

宮城県・女川潮騒太鼓 轟会(女川町)

平塚 傳氏(前会長)

被災地団体の主な状況

- ・宮城県支部：沿岸部で被災されたチームの皆さんとは未だ連絡がとれていないとのこと。
- ・岩手県支部：全チームの代表者の無事が確認されました。なお被災された陸前高田市の河野和義氏に関する記事が、2011年4月2日(土)の読売新聞(朝刊30面)に掲載されました。
- ・福島県支部：相馬市や楡葉町など相双地域の会員の中には、自宅が津波で無くなってしまった方も多数おられるとのこと。また会員のご家族や親戚の方が今なお行方不明の方もおられるとのこと。原発周辺の市町村の会員の方は、被災後間もなく避難命令が出たためわずかな所持品のみで避難しておられるとのこと。
- ・茨城県支部：家屋が損壊したり太鼓が破損している方が多いようです。
- ・千葉県支部：県内の太鼓団体の被害は無いようです。
- ・青森、山形、秋田県支部：太鼓関係者の無事が確認されました。

＜義援金のお願い＞

日本太鼓連盟として、被害を受けられた太鼓関係者の方々へ義援金を募ることにいたしました。役員は3千円、会員チームのメンバーは一人1千円を目処にまとめていただき、下記の口座にお振込みいただきますようお願いいたします。(支部一括でも、団体毎でも結構です)皆様のご協力をお願いします。

＜義援金の口座＞

三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店

普通1520760 日本太鼓連盟 総務部長 大澤和彦

なお、すでに義援金をお送りいただいた皆様は、次のとおりです。皆様のご好意に心より感謝し、御礼申し上げます。(順不同・敬称略)(財団登録名)

北海道：道央支部、橋本流地獄太鼓和太鼓會、のぞみ太鼓、山口太鼓流北海若衆太鼓、道東支部(全8団体)、北海道くしろ蝦夷太鼓(道東)、室蘭太鼓衆風鼓(道南)

青森：八甲田太鼓愛好会、鳥城こみせ太鼓、津軽情っ張り太鼓、みよこ太鼓、鶴田町太鼓の会

山形：太鼓道場「風の会」、尾花沢花笠太鼓

栃木：栃木県支部役員一同

群馬：群馬県支部(全12団体)

埼玉：埼玉県支部(全21団体)

千葉：千葉県支部

東京：東京都支部(全20団体)、武州粹鼓会、ツクダマユミ(個人)

神奈川：神奈川県支部(全8団体)

新潟：飛燕太鼓振興会

福井：福井県支部(全10団体)

山梨：山梨県支部(全23団体)

長野：信州裾花彩鳥太鼓、馬籠れい明太鼓、信州安曇野穂高太鼓、北斎太鼓運営協議会、あづみの鼓友会、足長剛勇太鼓、諏訪響太鼓連

静岡：田子海太鼓、静岡ハンディキャップ太鼓の会、鮎美太鼓、大東ふるさと太鼓の会、いずみ太鼓、金谷大井川川越し太鼓、遠州天竜太鼓、富岳太鼓、ホテルアンピア松風閣「羽駒」、鮎壺太鼓保存会、遠州袋井太鼓保存会

愛知：清州町伝統芸能保存会

岐阜：岐阜県支部、天邪鬼流和太鼓麗彩、美濃小倉太鼓三重：鈴鹿太鼓保存会、美杉連山のろし太鼓保存会、さだひこ太鼓、山本善己(個人)

京都：和太鼓サークルホテル

大阪：るんびに太鼓

島根：島根県支部、つわの太鼓、神戸川太鼓、石見銀山天領太鼓、三刀屋太鼓振興会、八久呂太鼓保存会

広島：広島県支部

香川：香川県支部(全6団体)

徳島：鴨島鳳翔太鼓振興会、羽ノ浦保育士太鼓グループ

九州：全九州太鼓連合

福岡県支部(全11団体)、佐賀県支部(全11団体)、

大分県支部(全10団体)、宮崎県支部(全34団体)、

鹿児島県支部(全22団体)

長崎：諫早天満太鼓、諫早肥前太鼓、おおむら太鼓連くじら太鼓、佐世保卸団地太鼓練成会、鹿町やまと太鼓の会、鹿山太鼓育成会鹿山雷神太鼓

特別会員：真駒内櫓一番太鼓会(北海道)、吉敷鳳羽太鼓保存会(山口)、ホテル鐘山苑霊峰太鼓(山梨)、越前寿太鼓(福井)

賛助会員：浅野太鼓楽器店、諏訪響太鼓店

海外団体：ブラジルオザスコ轟太鼓

～第13回日本太鼓ジュニアコンクール延期日程決定～

東日本大震災の影響を考慮して延期いたしました第13回日本太鼓ジュニアコンクールは、8月13日(土)に愛知県名古屋市の名古屋国際会議場センチュリーホールにて開催することに決定いたしました。

出演関係並びに主管の愛知県支部、名古屋センチュリーホール等の皆様には延期に際してご協力頂き誠にありがとうございました。なお、延期にあたっては、3月に予定しておりました内容で実施する予定です。また、大会規程中の年齢制限等については、3月開催時点の予定で対応することといたします。

＜大会内容＞

審査委員並びに出場団体は海外チームを含め、そのまま参加していただく予定です。

チケットについて

現在お持ちのチケットは、そのままご使用いただけます。また、新規購入の場合は、チケットぴあにて7月上旬より再度販売予定です。

払い戻し等、詳細はホームページをご覧ください。か、財団事務局までお問い合わせ下さい。

Tel.03-6229-5577

蓑輪敏泰氏 メキシコで太鼓指導

JICAのシニアボランティアとしてブラジルで太鼓指導を2年間されていた蓑輪敏泰氏(串間くるみ太鼓代表・宮崎)が、文化庁の文化交流使として、日本・メキシコ友好400周年記念事業の一環でブラジル太鼓協会の山本雄二氏とメキシコへ行き太鼓指導を行いました。(2010年9月20日～10月26日)

メキシコ滞在あれこれ

初めてのメキシコでの失敗、成功、なぜ?え～?!など、思い出せるいくつかを記してみる。

＜高地＞

1日目、町を歩き始めて間もなく、息苦しさを覚え、「10分も太鼓を打ったらどうなるんだ!?こりゃ大変だ!」で、トレーニングジムで毎日マシンに向かうことにした。

＜山本が強盗に?!＞

プロレスを見た帰り、メトロの駅を聞くのに2人の女性に山本が語りかけた第一声が「アンダーレ」(黙って歩け)だった。女性達は顔色はなくなるわ、おまけに彼が内ポケットからガイドブックを出そうと手を突っ込んだので、ピストルを持っていると思い、しどろもどろの状態に。駅名「アレンデ」を「アンダーレ」に間違えたためのアクシデント。(今では笑い話)

＜こんな出会いってある?!＞

日本メキシコ学院での指導初日。同郷宮崎出身の先生を紹介される。「竜です。」「私の今までに竜と言う名の人物はただ一人。昭和23年生まれの日向学院高校での同窓生にいましたが…」「はい、父はそれに当てはまります。」「ええ……(しばらく言葉がでない)」こんな出会いってあるのかな?ここはメキシコだよ?!翌日お会いした時「宮崎の父に確認したところ間違いない。」ということだった。

＜太鼓を打って＞その1

日本メキシコ学院で28時間、2週間掛けて指導する。メキシココースの4年生に和太鼓で使用する楽器の説明中、篠笛を用いて、「村祭り」を山本が吹いたところ、なんと歌いだした。「えっ!えっ!打ち合わせもしていないのにどうして知ってるの?!日本コースならともかく。」(昨年発表会で歌ったんだとか!)こんな偶然も…。

＜太鼓を打って＞その2

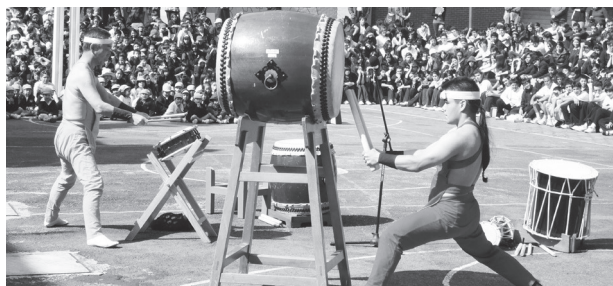
「私の靴と交換できないか?」メキシコ人男性が聞いてきた。白足袋で演奏後のことだった。「弱ったなあ…。あなたがわたしに代わって太鼓を打ってくれるなら足袋と交換しよう!」彼は両手を広げて笑いながら「それじゃ、写真を一緒に!」ということで一件落着。

＜魔よけをアミーゴに!＞

ダンス・アステカの音楽と踊りを楽しんだ後、彼らを訪ねて、一緒にアステカの太鼓を打った。(パチは木の枝で手作りの粗末なもの)「彼は日本の太鼓の先生です。」と山本が紹介すると、「オー アミーゴ、アミーゴ」と後をついて来て、別れ際に「アステカの魔よけだ。おまえにプレゼントする。」と足につけていた鳥の羽を一本くれた。「私は何もお返しするものがないよ。」「何もいらぬ。コラソン(心、気持ち)だけでいい。」と、名刺を交換し、再会を約束して別れた。最高のメキシコみやげに。

＜感謝＞

メキシコ人の人なつこさ。目が合うと微笑みを返す女性。背も日本人並み。顔立ちも我々に近い。それに、お世話頂いた大使館のみなさん、日墨協会の事務局長さん、日本メキシコ学院の先生達。ブラジルへ向かう飛行機の中で、35日間を思い返しながらか感謝と「また必ず来るよ!」と思いつつ眠りに就いた。



(メキシコでの演奏の様子)

各地で太鼓講習会を開催

＜第50回日本太鼓支部講習会(東京)＞

2月12・13日(土日)、東京都支部主催による支部講習会が財団事務局のある東京の中心地である港区の日本財団ビルで行われ、3・4・5級基本講座に地元東京都をはじめ、86名が参加しました。初日に塩見理事長も駆けつけ受講生たちを激励しました。また、日本財団の関連団体関係者で構成された太鼓クラブ、和太鼓水心会のメンバーからも参加がありました。国会議事堂とアメリカ大使館の間に位置するビル街が太鼓の熱気に包まれた2日間でした。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

| | | |
|------|-------|-------|
| 3級検定 | 9名受験 | 9名合格 |
| 4級検定 | 31名受験 | 31名合格 |
| 5級検定 | 46名受験 | 46名合格 |

＜第40回日本太鼓全国講習会(大分)＞

2月26・27日(土日)、大分県支部主管の全国講習会を、湯布院自然の家ゆふの丘プラザにて実施いたしました。地元大分県をはじめ、全国11府県に加え、台湾からも約40名の参加があり合わせて172名が受講しました。開会式では、財団を代表して塩見理事長、全九州太鼓連合長谷川会長、地元由布市議会より佐藤人巳副議長、長谷川建策議員、由布市教育委員会より清永直孝教育長よりそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会が行われました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

| | | |
|------|-------|---------------|
| 1級検定 | 7名受験 | 7名合格 (2名認定) |
| 2級検定 | 46名受験 | 46名合格 (12名認定) |
| 3級検定 | 10名受験 | 10名合格 |
| 4級検定 | 23名受験 | 23名合格 |
| 5級検定 | 40名受験 | 40名合格 |

*全国講習会にご参加いただいた台湾からの受講生の感想文を一部ご紹介いたします。

助六太鼓講座受講 劉玉琇(55歳)

「人は己の限界に挑戦し、乗り越えなければならない。」これが2級技術認定員を目指して訪日し、大分県の全国講習会で私が学んだことです。まずは理事長を始めとする多くの方々に、心を割いていただいたおかげで順調に今回の講習に参加でき感謝を申し上げます。

2010年7月に3級技術認定員に合格したときは、まさか2級を目指して訪日する日が来ようとは考えもしませんでした。年を重ねるにつれ体力も衰えてきており自信がなかったのです。しかし、私の所属チームの創始者は、「余計な心配をせずに、何回でも挑戦して、見聞を広めてきなさい!」と、大いに励ましてくれました。

2月26日、ついに日本人が太鼓を打つ真摯な態度と、大会を開催する細やかな心遣いを目の当たりにすることとなりました。

私が受講した助六太鼓の今泉先生と岩下先生は、常に笑顔で私は体力に若干の不安がありましたが、教室の雰囲気はとても良かったです。曲目は非常にチャレンジングなものでした。1日目は最後までマスターできませんでしたが、夜に熱いシャワーを浴びて気持ちを改めて、仲間とみんなと一緒に復習して、どうにかるところまでできました。明日の試験でどうかうまく打てますように。

源流太鼓講座受講 余佩静(16歳)

日本に来る前、「源流太鼓講座」は3つの専門講座の中でも、最難関だと聞いていました。開会式で専門講座のパフォーマンスを見て、私にとって最も「やりにくい」ものでした。

源流太鼓は長谷川先生とほかの補助講師の先生たちが教えて下さいました。先生方は春節の「年始団体祝賀」のときに台湾に来たことがあるので、おおよその教え方については理解できました。しかし、私は始まる前に緊張し始めてしまいました。ドキドキして心臓が飛び出しそうなほどです!ついに講習が始まり、前半の1時間で1拍子練習と三つ打ちを練習したら、全身汗びっしょり!!その後、曲の練習が始まって、パートに分けて練習しました。日本語は全くわかりませんでしたが最重要キーワードの「一生懸命」って言葉はわかりました!

1日目が終わって、源流の難しさは、その「心」を学ぶ難しさだと思えるようになりました。だって速いテンポの曲はすごく集中することでようやく身につけることができましたものだから!今回の源流の講習は私にとって収穫の多いものでした。ありがとうございました!!

☆お2人とも見事合格されました。



(講座の様子)

理事会・評議員会を開催

第28回理事会並びに第26回評議員会が3月11日に開催され、次の事項が審議、承認されました。

<理事会>

1. 2011年度事業計画及び収支予算について
2. 公益財団法人への移行に係る最初の評議員の選任方法について
3. 規程の改正について

<評議員会>

1. 2011年度事業計画及び収支予算について
2. 公益財団法人への移行に係る最初の評議員の選任方法について

* 当日会議終了後に東日本大震災が発生し、理事、評議員の皆様は帰路、大変難儀をされたそうです。

富岳会山内令子氏「瑞宝双光章」受賞

(社福)富岳会の山内令子理事長(静岡)が2010年秋の叙勲において、永年にわたり福祉援助に尽くした功績により「瑞宝双光章」を受賞されました。それを祝し、2月19日(土)に記念祝賀会が御殿場高原ホテルにて盛大に行われ300名の方々が列席、当財団からは塩見理事長が出席しました。
おめでとうございます。



(挨拶をする
山内理事長)

事務局だより

2011年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において、次の32事業が承認されました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

<支部講習会>2事業

7月9・10日(土日)台湾太鼓講習会(台湾桃園県)

9月24・25日(土日)日本太鼓支部講習会(北海道道西)

<教職員太鼓研修会>9事業

6月12日(日)宮崎県教職員研修会(高鍋町)

8月20日(土)宮城県教職員研修会(美里町)

7月未定(日)栃木県教職員研修会(宇都宮市)

8月21日(日)長崎県教職員研修会(波佐見町)

7月31日(日)群馬県教職員研修会(甘楽町)

9月23日(金祝)長野県教職員研修会(岡谷市)

8月4日(木)山梨県教職員研修会(南アルプス市)

2012年2月19日(日)北海道道北教職員研修会(旭川市)

8月18・19日(木金)島根県教職員研修会(出雲市)

<その他>21事業

6月4日(土)金沢百万石まつり(石川県金沢市)

10月9日(日)ジュニアコンクール三重県大会(津市)

6月19日(日)東北太鼓フェスティバル(福島県郡山市)

10月23日(日)北海道太鼓フェスティバル(鷹栖町)

7月16・17日(土日)雷童サマースクール(富山県高岡市)

11月5・6日(土日)台湾太鼓フェスティバル(彰化県)

7月23・24(土日)全九州和太鼓講習会inゆふいん(大分県由布市)

11月6日(日)佐賀県ジュニア太鼓フェスティバル(佐賀市)

8月28日(日)兵庫和太鼓のつどい(兵庫県三田市)

11月6日(日)ジュニアコンクール広島県大会(広島市)

9月11日(日)日本太鼓シニアコンクール福岡県大会(大野城市)

11月6日(日)秋田県子ども太鼓フェスティバル(秋田県横手市)

9月18日(日)日本ろう者太鼓同好会伊丹公演(兵庫県伊丹市)

11月13日(日)奥州ジュニア太鼓フェスティバル(岩手県奥州市)

9月18日(日)鼓どんどん2011(宮崎県新富町)

12月11日(日)関八州太鼓まつり(神奈川県海老名市)

10月2日(日)Taiko Yarou Day(北海道安平町)

2012年

10月9日(日)磐井太鼓フェスティバルin大東(岩手県一関市)

1月29日(日)全九州日本太鼓ジュニアコンクール(熊本県人吉市)

10月9日(日)2011年度東北北海道ジュニア太鼓フェスティバル(釧路市)

2月12日(日)雷童子供太鼓大会(富山県射水市)

講習会のお知らせ

第41回日本太鼓全国講習会(京都府城陽市)

期 日: 2011年6月25・26日(土日)

主 管: (財)日本太鼓連盟京都府支部

会 場: 京都府城陽市立東城陽中学校 (京都府城陽市久世上大谷 24)

専門講座

基本講座

助六太鼓講座(単式複打法)

今泉 豊氏

総合指導

古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

御諏訪太鼓講座(複式単打法)

松枝 明美氏

3級基本講座

渡辺徳太郎氏(1級公認指導員)

縮太鼓講座(単式単打法)

渡辺 洋一氏

4級基本講座

若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座

安江 信寿氏(1級公認指導員)

申込先: (財)日本太鼓連盟事務局 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

Tel: 03-6229-5577 Fax: 03-6229-5580